

（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開）

『剖検脳のオミクス解析・生化学的解析に基づく

神経変性疾患・認知症性疾患の病態解明』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2001年7月1日より2024年5月25日までの間に、東京都健康長寿医療センターで病理診断を受け、アルツハイマー病、脳アミロイド血管症、特発性正常圧水頭症と診断された患者様、並びに上記のこれらの疾患のいずれとも診断されなかった患者様。

【研究期間】

研究実施許可受領後より2029年3月31日まで

【研究代表者】

国立精神・神経医療研究センター神経研究所 疾病研究第四部 内上寛一

【研究責任者】

東京都健康長寿医療センター 高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

認知症性疾患や神経変性疾患は、原因の大半が不明であり、根本的な治療法開発が進んでいない現状があります。高齢化社会の現代、これらの疾患の克服は喫緊の課題です。神経変性疾患では疾患でみられる脳内の蓄積物が病気と密接に関わることが知られ、病気の原因を明らかにするためには患者さんの脳を使わせていただき、空間的な情報を明らかにすることが重要になります。本研究では、これらの疾患のうち最も頻度が高いアルツハイマー病や、アルツハイマー病に多く合併する脳アミロイド血管症などを対象として、RNAの発現やタンパク質についての空間的な情報を得て、得られた情報を組み合わせて、これらの病気の原因の解明や、新たな治療法の開発に繋げることを目的とします。研究期間は、研究実施許可受領後から、2029年3月31日までです。本研究で使用する脳組織は、東京都健康長寿医療センターより提供を受け、国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第四部において保管します。個人情報については、試料提供施設において、氏名・カルテ番号等の個人情報を削除し個人が特定できないように加工され、匿名化された形で供与を受け、対応表は試料提供施設に保管されます。保管期間は、主たる研究結果の公表後、5年を経過した日とします。なお、国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第

作成年月日： 2024 年 6 月 20 日 第 1.1 版

四部での解析過程で得られた試料の一部は、外部委託機関（かずさ DNA 研究所、日本ジェネティクス、タカラバイオ株式会社、Novogene、BGI Japan 社、Rhelixa 社）においてさらに追加の解析を行います。また、本研究において得られた研究結果の一部は、個人が特定できないように加工され、匿名化された形で研究者が共有可能なデータベースに登録・公開する場合があります。

【利用又は提供を開始する予定日】

研究開始日を予定しています。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：脳組織、パラフィン包埋切片、脳ライセート

情報等：年齢、性別、診断名、剖検脳組織の一部、または解析により得られた試料、解析データ

提供する試料・情報の取得の方法

試料：一般的な診療の一環として取得

情報：カルテの診療録から入手

【共同研究機関】

東京都健康長寿医療センター 高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

東京大学大学院医学系研究科 神経病理学 岩坪威

秋田県立循環器・脳脊髄センター 脳神経病理学研究部 宮田元

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所

所属 疾病第四部 氏名 内上寛一

電話番号 042-341-2712

e-mail: uchigamihirokaazu1※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)